

日立港区



1960(昭和35)年



現在

常陸那珂港区



1989(平成元)年



現在

大洗港区



1965(昭和40)年



現在

日立港区

1957(昭和32)年 5月	第1埠頭着工
1959(昭和34)年 10月	第1船入港
1960(昭和35)年 7月	第1埠頭3,000t岸壁完成
1962(昭和37)年 12月	港湾運送事業法に基づく指定港になる
1965(昭和40)年	第2埠頭着工
1967(昭和42)年 6月	重要港湾に指定される 関税法に基づく開港になる
1967(昭和42)年 11月	第2埠頭10,000t岸壁完成
1973(昭和48)年 10月	検疫法に基づく指定港になる
1976(昭和51)年 11月	第5埠頭着工
1981(昭和56)年 4月	第2埠頭供用開始
11月	第5埠頭供用開始
1984(昭和59)年 2月	九州定期コンテナ航路開設 (2006年6月航路廃止)
1985(昭和60)年 5月	四国定期コンテナ航路開設 (2007年4月常陸那珂港へシフト)
1986(昭和61)年 2月	東南アジア定期コンテナ航路開設 (2005年5月航路廃止)
1989(平成元)年 6月	第4埠頭 -12m岸壁供用開始
1990(平成2)年 7月	日立港物流センター完成
1991(平成3)年 12月	第4埠頭 コンテナターミナル供用開始
1992(平成4)年 1月	メルセデス・ベンツ日本 日立市に新車整備センターを稼働
7月	物流センターに冷凍倉庫が完成
10月	第2埠頭に県営3号上屋(燻蒸倉庫)が完成
1993(平成5)年 7月	釧路港との定期RORO航路開設
1997(平成9)年 6月	釧路とのRORO船サービスデイリー化
1998(平成10)年 4月	第5埠頭 -12m岸壁供用開始
1999(平成11)年 3月	港湾計画改訂
2006(平成18)年 6月	北九州定期RORO航路開設 (2011年2月常陸那珂港区へシフト)

2008(平成20)年 12月 25日 県北3港統合により茨城港誕生

2009(平成21)年 3月	港湾計画改訂
2010(平成22)年 4月	メルセデス・ベンツ日本の新車整備センターが日立市に統合
5月	日産自動車による北米向け乗用車の輸出が開始

常陸那珂港区

1983(昭和58)年 3月	重要港湾に指定される
6月	港湾計画策定
1989(平成元)年 7月	作業基地着工
1993(平成5)年 5月	北ふ頭地区着工
1998(平成10)年 12月	北ふ頭地区内貿バス供用開始
第1船入港	
2000(平成12)年 4月	北ふ頭地区外貿バス供用開始
極東ロシア定期航路開設	
8月	韓国定期コンテナ航路開設
11月	北米定期RORO航路開設
12月	欧州定期RORO航路開設
2001(平成13)年 2月	中央ふ頭地区本格着工
4月	関税法に基づく開港となる
7月	苫小牧港との定期RORO航路開設
2002(平成14)年 1月	韓国定期コンテナ航路の中国(華中)延伸
2月	中国(華南)定期コンテナ航路開設 (2004年2月航路休止→廃止)
2003(平成15)年 12月	常陸那珂火力発電所本格稼働
2004(平成16)年 2月	北米定期コンテナ航路開設(現在月1便化)
2006(平成18)年 3月	中央ふ頭-7.5m岸壁(耐震)供用開始
6月	北米定期コンテナ航路月2便化
2007(平成19)年 4月	四国定期コンテナ航路が日立港からシフト (2012年10月航路休止→廃止)
2008(平成20)年 2月	定期コンテナ(国際フィーダー)航路開設

2009(平成21)年 3月	港湾計画改訂
8月	中央ふ頭-9m岸壁供用開始
10月	苫小牧定期RORO航路 1日2便化
豪州定期在来航路開設	
2010(平成22)年 10月	極東ロシア定期RORO航路開設
2011(平成23)年 2月	北九州定期RORO航路が日立港区からシフト
アフリカ定期RORO航路開設	
南アメリカ定期RORO航路開設	

2011(平成23)年3月11日 東日本大震災発生

2011(平成23)年 6月	東南アジア定期RORO航路開設
2012(平成24)年 3月	豪州定期RORO航路開設
10月	中国・韓国・東南アジア定期コンテナ航路開設 (2015年8月航路休止→廃止)
2013(平成25)年 10月	東・南アフリカ定期RORO航路開設
12月	常陸那珂火力発電所2号機本格稼働
2014(平成26)年 11月	西ヨーロッパ定期RORO航路開設
2016(平成28)年 4月	定期コンテナ(国際フィーダー)航路開設
中央ふ頭-12m岸壁(耐震)供用開始	
7月	アフリカ定期RORO航路開設
9月	飛鳥II 初入港
11月	SUBARUによる北米向け乗用車の輸出が開始
2017(平成29)年 4月	韓国・中国定期コンテナ航路開設
2017(平成29)年 12月	定期コンテナ(国際フィーダー)航路増便
2018(平成30)年 10月	アフリカ定期RORO航路開設
2018(平成30)年 12月	港湾計画一部変更
2019(平成31)年 4月	茨城県初の外国クルーズ船入港
2019(令和元)年 10月	韓国・中国定期コンテナ航路増便
2019(令和元)年 11月	韓国定期コンテナ航路開設
2021(令和3)年 1月	常陸那珂共同火力発電所1号機本格稼働
2021(令和3)年 2月	中央ふ頭-12m岸壁(270m)供用開始
2021(令和3)年 7月	定期コンテナ(国際フィーダー)航路開設
2023(令和5)年 2月	中央ふ頭-12m岸壁(300m)全面供用開始
2023(令和5)年 12月	港湾計画一部変更
2024(令和6)年 1月	中国定期コンテナ航路開設

大洗港区

1961(昭和36)年 11月	大洗港起工式
1970(昭和45)年 6月	第1船入港
1971(昭和46)年 11月	第1埠頭地区埋立竣工
1978(昭和53)年 11月	第2埠頭地区埋立竣工
1979(昭和54)年 5月	重要港湾に指定される
1985(昭和60)年 2月	大洗港フェリーターミナルビル完成
3月	大洗港～苫小牧港、室蘭港にカーフェリー就航(週6便)
1986(昭和61)年 3月	第3埠頭地区埋立竣工
1988(昭和63)年 4月	県立大洗海浜公園供用開始
1992(平成4)年 7月	大洗マリーナ供用開始
1993(平成5)年 11月	室蘭航路(東日本フェリー)増便(2002年5月廃止)
12月	苫小牧航路(ブルーハイウェイライン)増便
1994(平成6)年 10月	新旅客ターミナルビル完成
11月	第4埠頭地区埋立竣工
1995(平成7)年 1月	第4埠頭-8m岸壁供用開始
1997(平成9)年 9月	東京～大洗～苫小牧航路(ブルーハイウェイライン)開設(1999年4月廃止)
1999(平成11)年 4月	大洗～苫小牧航路(ブルーハイウェイライン)増便、1日2便体制へ
2001(平成13)年 7月	苫小牧航路運航会社がブルーハイウェイラインから商船三井フェリーへ
体験型科学館「大洗わくわく科学館」がオープン	
2002(平成14)年 3月	「アクアワールド茨城県大洗水族館」がリニューアルオープン
6月	苫小牧航路が商船三井フェリーと東日本フェリーの共同配船へ
2005(平成17)年 6月	にっぽん丸 初入港
2006(平成18)年 2月	「日光・大洗クルーズ船誘致協議会」設立
3月	「大洗リゾートアウトレット」がオープン
2007(平成19)年 1月	苫小牧航路運航会社が商船三井フェリーへへ一体化